

2019年12月20日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

テス・エンジニアリング株式会社をスポンサーとするSPCを通じた グリーンプロジェクトボンド信託受益権の組成及び引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下「当社」）は、このたび、テス・エンジニアリング株式会社（以下「テス・エンジニアリング株式会社」又は「同社」）をスポンサーとする発電事業者SPCを通して発行される太陽光発電所を裏付け資産としたグリーンプロジェクトボンド信託受益権⁽¹⁾（80億円、以下「本信託受益権」）の組成及び引受けにおいて Structuring Agent⁽²⁾を務め、本日、本信託受益権が発行されましたことをお知らせします。

テス・エンジニアリング株式会社は、太陽光発電事業全般において高い専門性を有する「省エネ、環境対策専門」のエンジニアリング会社で、2019年10月末までに584件（総発電容量約618MW）の太陽光発電システムを納入しており、そのEPC（設計・調達・施工）及びO&M（オペレーション&メンテナンス）に関しても豊富な実績を有しております。同社は、「顧客重視・顧客満足」を企業理念として顧客のエネルギー問題の解決に励みつつ、「主力商品であるコージェネレーションシステム及び各種環境・省エネシステムを通じて地球温暖化と環境保全に貢献」することを環境方針に据え、品質・環境マネジメントシステムを実践しながら地球にやさしい企業活動に努めております。なお、本信託受益権により調達された資金は、同社が開発した太陽光発電事所の取得に充当される予定です。

また、本信託受益権は、適格性と透明性の確保および投資家への訴求力向上のため、第三者評価として、株式会社格付投資情報センター（R&I）より「R&Iグリーンボンドアセスメント」の最上位評価である「GA1」の評価を取得しています。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取組みを積極的に推進しており、環境分野においてもグリーンプロジェクトボンド信託受益権及びグリーンボンドの組成及び引受けをはじめ、炭素クレジットやクリーンエネルギービジネスにおけるコンサルティングサービスの提供、社内の省エネ・省資源施策等を実施しています。

2006年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界の ESG 投資⁽³⁾が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした有価証券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本信託受益権の概要)

名 称 : プライム2グリーンプロジェクトボンド信託受益権
取 得 格 付 : BBB (R&I)
受 託 者 : 日立キャピタル信託株式会社
発 行 額 : 80 億円
信託設定日(発行日) : 2019年12月20日
信 託 満 了 日 : 2040年7月31日
Structuring Agent : 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

- (1) 本信託受益権は、国際資本市場協会(International Capital Market Association: ICMA)が定義する「グリーンボンド」の特性に従ったものである旨、株式会社格付投資情報センター(R&I)からセカンドオピニオンを取得しており、環境事業に要する資金を調達するために発行される。
- (2) 本信託受益権のフレームワーク策定及び第三者評価機関からの評価取得の助言等を通じて、発行支援を行う者をいう。
- (3) ESG投資は、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の英語の頭文字を合わせた言葉であり、これらの要素に配慮している企業を重視・選別して行う投資のこと。

以上